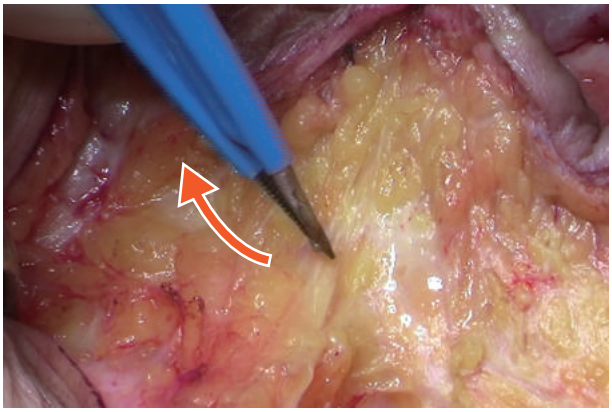
スタン式モノポーラ･フォーセップ使用方法のポイント

スタン式モノポーラ･フォーセップ(ellman社製)は､バイポーラのように先端が鑷子型であるが､エナジーソースはモノポーラである。電極の動かし方を変えるだけで切開・剥離・凝固操作を 1 本で行うことができるため、手術時間が短縮される。また、電極先端には 吸引口が備えられており、通電時に発生した水蒸気の吸引が可能である。特に乳房下縁アプローチ等、視野が狭く奥まった部位を手術する際には有効である。

【図 1】スタン式モノポーラ･フォーセップの構造

【切開操作】

フォーセップ先端を閉じ、通常の切開用電極と同様の使い方で切開・剥離操作ができる。片方の先端のみでも通電は可能であり、部位によって使い方を変えることも可能である。組織を引っ張らず、スムーズに切開するためには、先端よりやや外側のエッジ部分で軽く触れるように組織に当てるのがコツである。特に大胸筋下・乳腺下を 剥離する際には、組織を翻転させて剥離部位にテンションをかけると滑らかな切開を行うことができる。また 電極には吸引口が備わっているため、通電時に発生した煙 (水蒸気) を吸引し、奥まった部位の剥離の際にも視野の確保が容易である。



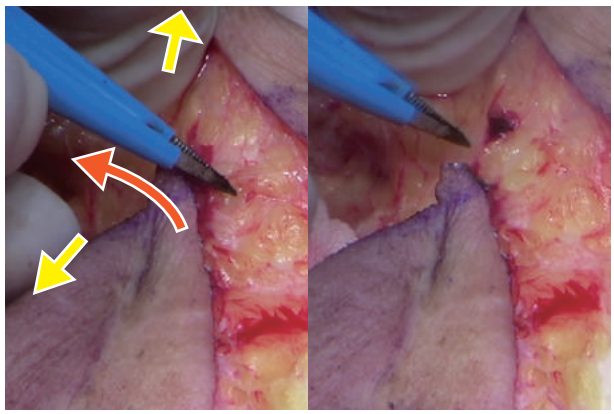
なお、この電極の先端部分は太いため、皮膚切開は出来ない。

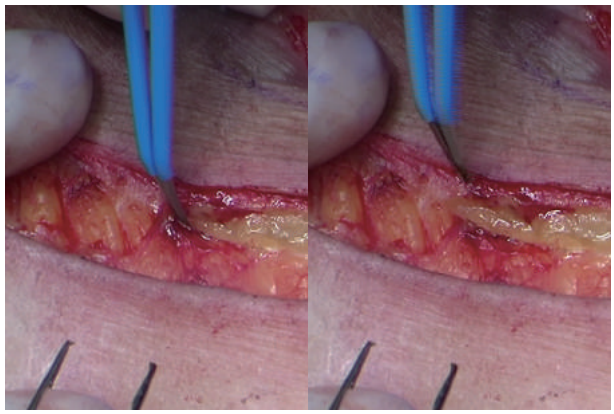
モノポーラ･フォーセップのラインナップ

最も小さい眼瞼用には、吸引口がない。

【切開の手順とポイント】

①切開予定ラインに対し、垂直方向にテンションをかけます。
②通電を始めてから、電極を組織に接触させます。
- 出来るだけ、組織に対して垂直に当てます。
- 力を入れて押しつけて切るのではなく、電気の力を使い、軽い力で切開を進めて行きます。
- 一度に深く切開しようとしないことがコツです。





組織にかけるテンションの方向
電極の操作方向

切開時のサージトロンの出力設定

機　種	モード		出　力
胸部用フォーセップ (IEC-MJ11)	S5	BLEND	50～70
		COAG	50～70
眼瞼用フォーセップ (IEC-MJ21)	S5	BLEND	15～25
		COAG	10～20
	DUAL	BLEND	20～30
		COAG	15～25

注：この出力設定は目安です。状況により先生方のご判断で出力設定を変更して下さい。
注：サージトロン EMC ／ FFPF ではこの電極は使えません。